

磐城時報

編輯人 岡田 弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 一四〇
郵政掛號 第三〇八號
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一四半 一月一元五角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
印刷 (日曜祭日) 休刊

再燃した福炭争議 急轉直下解決

解雇者には旅費手當支給 結局は争議團の勝利

石城郡赤井村福炭争議は側の絶對的勝利に歸し終末を告げ既報の如く第一、第七の両坑更けた。

に社民黨と親密なる連絡を保ち三百七十余名結束してサボタージユを續けて来たが、會社側では争議が永引くことにより豫測し難き結果を恐れ遂に我が所り七日午後三時菊地礦業所長は川島人事係長外二名と共に平町住吉屋本店に組合代表に會見を申出たので組合より日本労働總同盟の徳永、藤原並に綿引、松本の四氏出席二時間余に會談の末組合側の要求事項たる

一、労働者の賃金は全部元通り支給すること
一、争議團員は今後減首せざること
一、前日(七日)減首した従業員は相當の手當を支給すること

の三ヶ條全部を無修正で認める事決定更に過般減首した五名の従業員に對しては二週間分の賃金及び歸國旅費を支給する事、なほ坑内の設備中第二坑は従来の坑口を廢し新に坑口を作り設備を完備して入坑せしめることとなり同夜午後八時圓満解決し直に同所に於て祝賀の宴を催したが、之により前後の二ヶ月余に亘つた同争議も組合

農業經營、簿記、米檢、普通外で八十五名である。

石城郡中堅農民講習會は二月一日から五日まで植田町小學校、

所、十一日から二十日まで休業等で講師は安島重三郎、伏見彦衛、縣農會野村直雅、大山慶次郎、森實、農事試験場佐本、本橋、伊藤、稲田、矢ヶ崎各技師、縣古賀、大垣内兩技師その他酒井專治、加藤、柴田、橋本、外敷氏で講習生は各町村から三名内

作物、蔬菜、信用組合、農業倉庫、養鶏、副業、經濟公民教育、畜産、病虫害、農具、二毛作、林業、課外

中堅農民講習會
卒業式は三月二十一日

平警察署
武道初め

江名信用總會
炭車配給會議

少年火防隊發會

金馬簾授與

石城海岸の砂漠地
三月まで拂下

一反歩五圓から三百圓位
總價格二萬圓の見込

町村長連奮起
三郡協力して防止運動

修養園で講習會

時計を拾得

商友會新年宴會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

石城海岸の砂漠地 三月まで拂下

一反歩五圓から三百圓位 總價格二萬圓の見込

平稅務署では石城郡内各町村に驚、古川の二縣議を出してあるおける海岸雜種地(砂漠地)となおそらく誰かが平和そのもの、つてあるところ二日三十四町歩様などところだらうと想像するが

を來る三月までの年度内に全部豈はらんや政黨の反目と來たら買却處分する方針で目下それを天下一品といつてもよい位、いれ當該町村に拂下べく交渉中

だ、豊間村海岸の十町歩は慰安會を開くが、猫の額同然の略賣却濟みとなつたが

この程全部にわたる實測したところ波打際よりは約四十間を隔て、處分する事となつた結果臺帳面積より約半減、賣却し得る面積は百十町歩内外となつたが、特買價格は最低一反歩五圓、最高三百圓の見込みである

最高は石城郡四倉町漁業組合附近の海岸八間幅約五十間、漁業家としては祖父傳來船揚場として使用した海岸の砂地であり今更これに政府が處分するとは甚だ酷い

と苦情を申し立て、はるるが結局右の拂下げにより大蔵省では約二萬圓の收入を得る見込みである

植田町は石城郡南の中心地であり、況當時は豫想以上の羽振りを得て防上すべく石城、相馬各町村つて小さく去年の國勢調査によつて近くその筋に防止運動をなす町村長に同意を求めたが、由で最下位であつた。然るに現在中町長に同意を求めたが、由で最下位であつた。然るに現在中町長に同意を求めたが、由で最下位であつた。

政黨の反目
緩和の瑞祥
最近の植田町

町村長連奮起
三郡協力して防止運動

修養園で講習會

時計を拾得

商友會新年宴會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信 濱三郡農業 教育研究會

濱三郡農業教育研究會は來る十六、十七日の兩日相馬農藝學校で開催する事となり、これが準備のため役員會を開き佐藤農藝學校長、山田、佐々木、前川、金田、荒川の各幹事出席協議した。研究事項は農産加工、畜産の二問題で建議、協議、談話及び研究發表等にして講師は左の諸氏である。

岩瀬農藝學校長、菊地良樹、縣補習教育主事景山鹿造、代議士助川啓四郎、實業教員養成所長近藤節太郎の諸氏。

町村長會議
相馬郡町村長會議は十日午前十時から郡農會事務所で開催、六年度町村豫算編成について協議する筈であるが、吏員、教員の俸給へは各町村とも手を付けぬ意向である。

小學校長會議
相馬郡内小學校長會議は十日午前十一時から中村第一小學校講堂に開催する。

原釜漁民
不景氣知らず

相馬郡中村町原釜は海水浴で名高い三百余戸の漁港であるが、昨冬の大漁で十數萬圓の収入を見て大活氣を呈してゐる折しも折引引續きカレヒの大漁となり調査して見ると潮流の關係で今後暫らく大漁續き、ひなし目下小型漁船續々新造され最盛期に入ると傳へてゐるとは悪

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

相馬支局通信
濱三郡農業
教育研究會

賀狀片々

辛未新春早々元朝から私の手元に雑多の年賀状が舞ひ込みました。其の内から吉例により一二を申述べませう。

滋賀縣安土村沙々貴神社
社司 佐々大鐵之助
子鐵倉神社々司 山部 正勇
大國魂神社々司 山名 隆貞
釜戸諏訪神社々務所高木信定
湯本町惣壽寺 森 花 葉
社 頭 雪

海軍大佐 猪瀬 乙彦
雪壓松枝拂玉垣 獨離塵界禪
神園 談山詞城禮佛所 正覺
靈應降微魂。

まがつひの 消えにし跡も
かからまし 静けきよき
神垣の雪。

高 久 晚 霞
ひろ前に雪を被ける木立みな
こがね色して初日匂へり

東京 矢部 道氣
世に生くるたつきはかたし面
すれて、髪さへはやくうすら
ぎにけり。

矢部氏は警視廳けん道の先生で
あり常春社歌人でもあります。
文武兩道の達人です。

片 寄 文 狂
參詣の道丈け掃ひ賜ふかな
雪に閉せる宮の神主。

平瀨町 佐川滿壽莊
しばらくは まるりわづらふ
かみ賀きの しろたへのゆき
ふむがをしに。

神ぬしのたゞ太鼓の紋に似
て、ともえをみだす廣前の雪
しら雪や下乗の奥の小松原。
湯豆腐の欲しい神酒所の雪景
色。

高級品と有名品に

迷ふ勿れ!!!
品質本位の詰替の
ボクリムは 是非當店へ

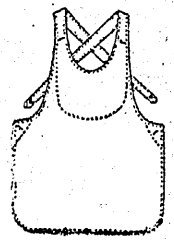
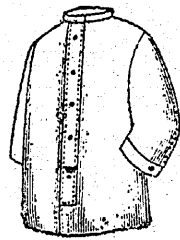
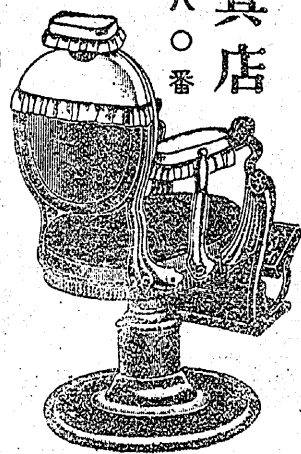
平土橋山崎合名會社前

芳香園

理髮器具店

電六八〇番

白衣各種



皆々様御待兼の
久々にて

東 大歌舞伎

西 大内巡業部

當る一月十二日より當地聚樂館に於て開演仕
候間何卒舊倍之御引立之程伏而御願申上候
尙愛讀者
に限り 後
特等優待
券を進呈 援
吉 町 新 開 店
警 城 通 信 社
東京毎日新聞平支局
東京朝日新聞平支局
至 誠 堂 新 開 店

靴...前例になき大破額

最底價の...赤正札付き大賣出し
定評有る大塚の自製靴

ピツクリする程の...赤札
店內陳列御自由御覽下され
御買ひ上げを...

七五三御祝
子供靴...安賣
大塚支店 製靴部
運動具部
電話七七番

平新川町十九

木村病院

電話一六四

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 女醫 木村コウ
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科 醫學士 萩原駿二
藥局 東京藥學士 萩原駿二

外科 一般外科 内臓外科

性病科 X光線科
入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

耳鼻咽喉科 専門

平町仲田町七一

應入院 合津醫院
電話五五九番

胃腸病

肺病、肥り度い人婦人病
冷え症、慢性諸病に特効

温灸器

醫學博士甘名推獎
特許ラチウム温灸器
説明書進呈
定一揃大 金十三圓
特一揃小 金十圓

福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院

特約代理 福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院
治療部 福島縣平町白銀町九
關口悦子

秘傳腫物湯

のんで効く
はれ物の妙薬
主一 面疔、よう乳の腫れ、指のはれ、淋巴腺の腫れ
効一 耳鼻のおでき、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前
後、特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

特約店
平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
平町三丁目 宇佐美藥店 植田町 松本藥店
湯本町 岩瀬屋藥店 富岡町 莊野藥店
助産湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野醫院製劑部



一日一自安
僅五か僅價藥日一自安
の錢五か僅價藥日一自安
治療宅便簡・價安
の密秘・効卓・便簡・價安
すで藥想理たつ揃つ四

代理店 平町五丁目 山野邊藥局
こんな微候の人々は一時も早く治療すべきです
●血帯下、赤帯下、コシケ多き人、下腹痛、筋張り又は
つる人、子宮冷込、腰脚の冷え又は痺れる人、月經不順
月經時に腹痛、腰痛、神経衰弱、ヒステリーの人、月經
時の前後に白結つたこしげが下る人、子宮毒、尿意頻
人、子宮痒、腰痛、出血する人、局部膿臭、かゆき人、逆上
頭痛、耳鳴、眩暈する人、肩が凝り又は背が痛む人、流産
早産する人 定價 一週分一・四〇 二週分三・八〇
五週分一・八〇 十週分三・五〇

寒さに暖房は

鈴木のたごん

「アンカ」...「コタツ」は...一晩一個
木炭代用 頗る經濟
平町宇古銀治町杉ノ澤

電力應用 鈴木炭團製造所
平町宇古銀治町杉ノ澤

販賣所 魚清水卸部
平町宇古銀治町杉ノ澤

速迅配達
一車積の御注文は特に御相談に應じます